

記者発表（資料配布）

月/日	担当課（室）係名	TEL（代表）	発表者名	資料配布先
1/31（金） 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559)2001	次長 石田弘明 (課長 小山恵介)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

「Where Culture Meets Nature ～日本文化を育んだ自然をいかに魅せるか～」の開催について

1 主旨

自然史レガシー継承・発信実行委員会は、平成28年度より4年間にわたり実施してきた館外企画展示「Where Culture Meets Nature～日本文化を育んだ自然」の成果を振り返り、今後の自然史資料の保全と活用に関する議論を深めるためのシンポジウムを以下のとおり開催します。

日本の文化は、人と自然の間に伝統技術が介在することで豊かな発展を遂げてきました。豊かな自然を礎に育まれた文化の結晶ともいえる歴史的建造物・ユニークベニューを活用することで、科学の細分化によって分離してしまった自然史や歴史・人文・民俗を再び融合させることで先人たちが培ってきた文化を再発見出来るだけでなく、これまでにない価値を見出し、新しい文化を育める可能性があります。本シンポジウムでは、平成28年度より4年間にわたり実施してきた歴史的建造物を活かした自然史標本のこれまでにない価値を表現する展示実験や先進的な取り組みを振り返るとともに、これからの日本に求められる文理融合型の価値創造の在り方を探ります。

2 開催情報

主催：自然史レガシー継承・発信実行委員会

共催：特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク、小規模ミュージアムネットワーク

場所：京都国立博物館 平成知新館ホール

開催日：令和2年2月24日（祝・月）

1部 10時30分～12時

2部 13時00分～17時

参加費：無料（参加者は京都国立博物館への入館料が必要）

申込み方法：兵庫県立人と自然の博物館までメール、またはファックスでお申込みください。
（下記を参照）

3 内容

【1部】＜レガシー事業とICOM報告会＞

開会あいさつ

報告1 10:30～10:50

「小規模ミュージアムネットワークとICOM京都大会」

坂本 昇（伊丹市昆虫館 学芸員）

報告2 10:50～11:10

「地域の博物館との連携協働から見た成果と課題」

濱村 伸治（国立科学博物館 連携推進・学習センター）

報告3 11:10～11:30

「ICOM京都大会をふまえた自然史博物館がめざすべき未来」

佐久間 大輔（大阪市立自然史博物館）

意見交換 11:30～12:00

司会：亀田 佳代子（琵琶湖博物館）

【2部】

開会あいさつ 中瀬 勲(自然史レガシー継承・発信実行委員会) 13:00～

講演1 13:10-13:50

「Where Culture Meets Nature～日本文化を育んだ自然展」成果と課題

三橋 弘宗(兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員)

講演2 13:50-14:30

「センス・オブ・ワンダーと対話が鍵となる、大学や市民との協働」

稲庭 彩和子(都美術館)

<休憩> 14:50 まで

講演3 14:50-15:30

「茅が生み出す新しい伝統」

相良 育弥(茅葺き職人、淡河茅葺き屋根保存会「くさかんむり」代表)

講演4 15:30-16:10

「植物から生まれる日本の色」

吉岡 更紗(よしおか工房)

総合討論 (16:10-16:55)

司会： 林 光武(栃木県立博物館)

4 受付

締め切りは、2月20日(木)

申込先は、兵庫県立人と自然の博物館 レガシー事業係まで、名前、住所、連絡先、所属をご記入のうえ、メール(legacy@hitohaku.jp)、またはファックス(079-559-2033)にてお申込みください。

5 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境マネジメント研究部 主任研究員 三橋 弘宗